

全建発第28～217号
平成28年11月28日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久 和

印省略

第631回建設技術講習会（災害復旧）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万1千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図るとともに、建設技術関係者の連携・交流をはかり、建設関係施策の円滑な推進と良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とする一般社団法人です。

現在、わが国においては、東日本大震災や平成28年熊本地震等自然災害が頻発しており、防災・減災等における国民の安全・安心の確保はもとより、社会資本の老朽化対策、ストック効果の最大化を図る効率的・効果的な社会資本整備の推進、i-Construction（建設現場の生産性革命）など、時代の要請にこたえた施策の展開を図っていくことが重要となっています。国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、現場に強い建設技術者は、技術力や企画・立案、説明力、交渉力、現場力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供、現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第631回建設技術講習会では、公共土木施設の災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術、災害査定申請のポイント、留意事項、改良復旧事業の計画手法、危機管理に備えた体制の強化など、災害対策に係る施策の最新情報を得ることを目的としています。本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久 和
印省略

第631回建設技術講習会（災害復旧）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成29年2月1日(水)～3日(金)、静岡市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、公共土木施設の災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術、災害査定申請のポイント、留意事項（※河川、港湾、海岸、都市施設）、改良復旧事業の計画手法、危機管理に備えた体制の強化など、災害対策に係る施策の最新情報について学ぶことを目的としています。

なお、本講習会は静岡県・静岡市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

一般（非会員）	18,400円	会員	30歳以上・特別会員・賛助会員	13,400円
			若手（30歳未満）	2,000円

<地元（静岡県内の官公庁職員及び特別会員）>

一般（非会員）	国・県・政令市	13,400円	会員	国・県・政令市・特別会員	2,000円
	市町村	2,000円		市町村	0円
	学生	0円		—	—

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

※若手及び地元〔静岡県内の国・県・政令市に勤務、特別会員〕は割引価格のため、取り消しできません

※賛助会員名簿は全建ホームページ（<http://www.zenken.com/>）で確認できます

③現場研修料：7,700円〔うち昼食代1,200円〕

※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。

※会場でのお支払い等のご遠慮願います

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「631」をつけ加えて下さい

※振込手数料はご負担願います

⑦申込締切日：平成29年1月13日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成29年1月20日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成29年1月27日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は、本会実施の「全建CPD（継続教育）制度」の認定講習会として単位が取得できます。

講習会情報については全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第631回建設技術講習会（災害復旧）日程

～災害復旧の制度、災害復旧時の工法や技術、申請のポイント、災害査定時の留意点などの実務を学ぶ～

- ・公共土木施設の災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術について
- ・災害査定申請のポイント、留意事項について
- ・改良復旧事業の計画手法について
- ・危機管理に備えた体制の強化など、災害対策に係る施策の最新情報について

《参加者／全国官公庁に勤務する建設関係職員350名程度（地方自治体職員9割）》

会場 …… しずぎんホール ユーフォニア（アゴラ静岡8階）
〒420-0853 静岡市葵区追手町1-13 TEL054-250-8777(代)



(1日目) 開場11:40		平成29年2月1日(水)		(敬称略)
12:40 }	あいさつ	静岡県知事	川 勝 平 太	
13:00		静岡市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	田 辺 信 宏 秋 山 幸 男	
13:00 }	【全建創立70周年記念 基調講演】 今後の建設行政と公務員技術者の役割	工学院大学 教授	畑 村 洋太郎	
14:00		東京大学 名誉教授		
14:10 }	平成28年発生災害の概要及び災害復旧事業採択について	国土交通省水管理・国土保全局防災課	田 部 成 幸	
16:20		総括災害査定官		
16:30 }	【地域事業の紹介①】 静岡県の津波対策（静岡方式）について	静岡県交通基盤部河川砂防局河川企画課	山 田 真 史	
16:50		海岸企画班長		
16:50 }	【地域事業の紹介②】 県道静岡焼津線 災害関連事業について	静岡県島田土木事務所工事第2課 主査	宇佐美 嘉 則	
17:10				
17:10 }	【地域事業の紹介③】 しずみちinfo（静岡市道路通行規制情報）について (仮)	静岡市建設局道路部道路保全課 主査	新 庄 大 輔	
17:30				
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞（18:15～19:45(予定)）		ホテルアソシア静岡 3階「駿府Ⅱ」 TEL054-254-4141		
(2日目) 開場 9:00		2月2日(木)		(敬称略)
9:40 }	港湾関係災害復旧事業制度の概要について	国土交通省港湾局海岸・防災課	山 田 昭 光	
10:40		総括災害査定官		
10:50 }	都市災害復旧事業制度の概要について	国土交通省都市局都市安全課 課長補佐	下 平 弘 和	
11:50				
13:00 }	危機管理に備えた体制の充実強化について ～国土交通省の自然災害への対応～	国土交通省水管理・国土保全局防災課	田 中 克 直	
14:00		災害対策室 防災企画官		
14:10 }	熊本地震における被害と対応について	国土交通省九州地方整備局	安 部 宏 紀	
15:10		総括防災調整官		
15:20 }	公共土木施設に係る災害復旧事業と改良復旧事業について	国土交通省水管理・国土保全局防災課	吉 田 邦 伸	
16:20		緊急災害対策企画調整官		
16:20 }	閉会のあいさつ	静岡県建設技術協会 会長 (静岡県交通基盤部 理事)	杉 保 聡 正	
(3日目) 集合 7:45～		2月3日(金) 【現場研修】		

ホテルアソシア静岡 乗用車・バス駐車場（JR静岡駅南口）（8:15）出発

- 二級河川巴川（麻機遊水地）総合治水対策特定河川事業〔ICT土工予定〕（下車説明）
- 県道静岡焼津線 災害関連事業（トンネル工事）（下車説明） → 昼食（焼津市内）
- 浜松市沿岸域防潮堤整備事業（下車説明） → JR浜松駅（16:10）／JR静岡駅（17:35）着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第631回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 二級河川巴川（麻機遊水地）総合治水対策特定河川事業〔ICT土工予定〕 …… 静岡市葵区

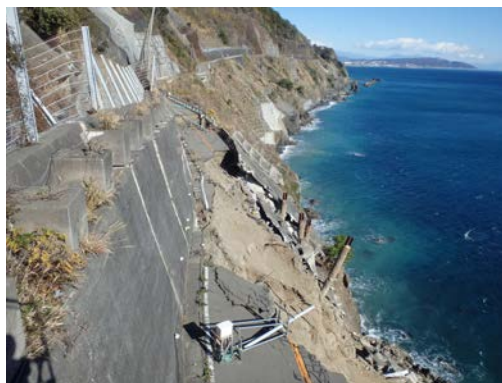
- ・巴川は静岡・清水平野の市街地を貫流する二級河川で、川の勾配が緩く流下能力が低いため、巴川流域では過去から度重なる浸水被害に見舞われてきた。
- ・昭和49年7月の七夕豪雨による甚大な被害（死者・行方不明者41名、浸水家屋26,156棟）を契機に、巴川は昭和54年に総合治水対策特定河川に指定され、河道整備に流域対策や土地利用規制等を加えた総合治水対策に着手した。
- ・治水計画は、巴川下流部の局部的な改修による流下能力の向上、大谷川放水路の開削による洪水分派、麻機遊水地等の整備による洪水調節の3つを柱としている。
- ・昭和54年度に着手した第1期計画（58mm/hr規模）が完了し、現在は第2期計画（69mm/hr規模）を進めており、将来計画（92mm/hr規模）に向けて段階的な治水安全度の向上を図っている。
- ・麻機遊水地第2工区の建設工事では、マシンコントロールされた油圧ショベルや小型無人機ドローン等を使ったICT（情報通信技術）を活用した土工により、作業の効率化が図られた。（視察キーワード：総合治水対策、遊水地、防災・減災、ICT土工等）



麻機遊水地の空中斜め写真

2. 県道静岡焼津線 災害関連事業（トンネル工事） …… 焼津市浜当目

- ・大崩海岸と呼ばれる断崖絶壁の海岸沿いにのびる道路
- ・落石・崩落等の恐れがあるため、連続雨量が100mmを超えると通行止め
- ・平成25年10月の台風26号において地すべりが発生し、道路に亀裂や沈下
- ・被災箇所は、海に面し、地すべり背後は急峻な地形
- ・幅60mの規模である地すべりに対して、原形復旧の対策工をするには仮設等の付随する工事が大規模となる
- ・災害申請においては、対策工法選定で、橋梁で地すべりを迂回する案、トンネルで地すべりを迂回する案、地すべり対策工を実施し現道復旧する案を選定し、比較検討を実施
- ・道路災害関連事業により、崩壊のおそれのある周辺の脆弱な斜面を迂回するトンネルを新設する改良復旧として採択され、事業を実施（視察キーワード：災害復旧、防災・減災等）



3. 浜松市沿岸域防潮堤整備事業 …… 浜松市南区

- ・南海トラフ地震に備えた対策として、浜名湖から天竜川河口までの約17.5kmの区間で防潮堤を整備
- ・篤志家、地元企業、及び市民の寄付金により、レベル1津波を上回る高さの防潮堤整備が実現
- ・ダム建設で培われたCSG工法を採用し、建設地となる海岸防災林の再生を可能にするとともに粘り強い構造を実現
- ・CSG工法の特徴でもある材料の合理化（基本的に分級不要）、設計の合理化、施工の合理化（汎用機械で施工可能、マシンガイダンス等）に加え、現場条件を踏まえた数々のコスト削減策を実施
- ・地盤支持力の適切な評価、及び着手・進捗の迅速化を可能とした情報化施工を採用（視察キーワード：東南海トラフ地震、防災・減災、官民連携（民間企業の寄付）等）



第631回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には静岡市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前 (前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成29年1月31日(火), 2月1日(水), 2日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

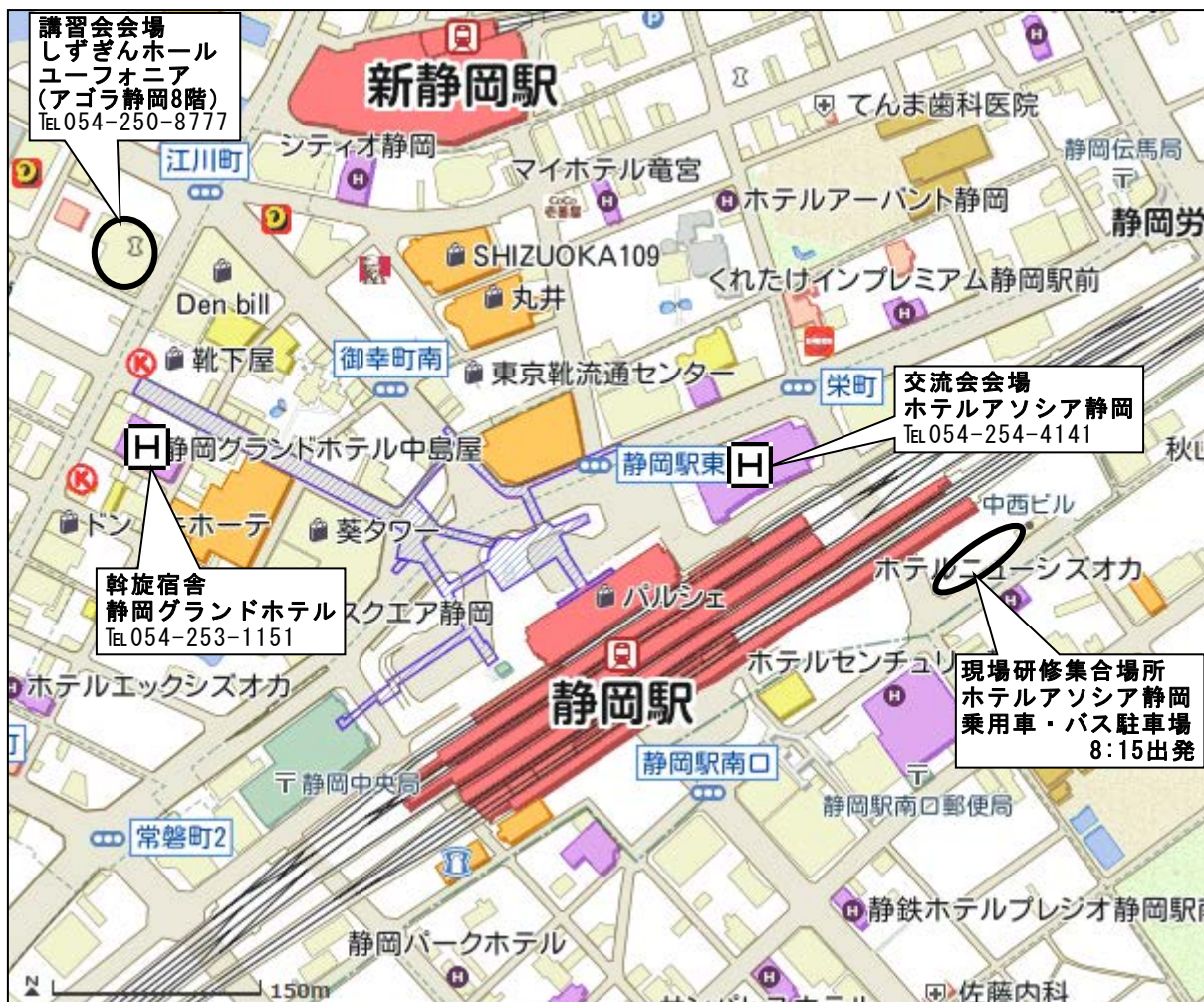
宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
静岡グランドホテル中島屋 静岡市葵区紺屋町3-10 Tel.054-253-1151	シングル	40名	8,800円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
(特別・賛助会員名、会社名)

第631回建設技術講習会申込書 (災害復旧)

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込			
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	会員	正会員 30歳未満			予約日に○を記入して下さい			
								1月 31日	2月 1日	2日	
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)							現場研修の昼食は不要の申し出はできません※		宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。		
現場研修料 名×7,700円＝ 円											
計 円											

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(30歳未満、地元)は割引価格のためキャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

第631回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時 : 平成29年2月1日(水) 18:15~19:45(予定)
(第631回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所 : ホテルアソシア静岡 3階「駿府Ⅱ」(予定)
※開催場所が変更になる場合がありますので、当日ご確認ください。

会費 : 2,000円(講習会受付時に徴収)

- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
- ※開催時間は変更が生じることもありますので、講習会場にてご案内いたします。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|-----------------------------|----------|
| ・国土交通省水管理・国土保全局防災課 総括災害査定官 | 田部 成幸 講師 |
| ・国土交通省港湾局海岸・防災課 総括災害査定官 | 山田 昭光 講師 |
| ・国土交通省九州地方整備局 総括防災調整官 | 安部 宏紀 講師 |
| ・静岡県交通基盤部河川砂防局河川企画課海岸企画班 班長 | 山田 真史 講師 |
| ・静岡県島田土木事務所工事第2課 主査 | 宇佐美嘉則 講師 |
| ・静岡市建設局道路部道路保全課 主査 | 新庄 大輔 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com